

会派紹介 翠巒会 (すいらん)

「翠巒」とは緑豊かな山並みを意味します。一人一人が小さな山になり自立心を高め連なることで、さらに大きな力になれるとの思いで命名しました。

メンバーの構成は田沢湖地区4人と角館地区1人で、基本的な政策理念が一致することが前提の会派であります。

市民の立場に立ち、政策提案を

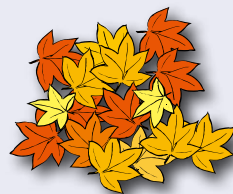
会派の主な活動は、会報「翠巒」の発行と、月に一回程度、会報の取材も含めゲストをお願いして勉強会を開催しています。会報を発行して一番嬉しいのは、読者の方々から戴くメッセージです。の将来を見据え、市が抱えている多くの問題に市民の立場に立ち、政策提案をしながら解決に役立つことが責務であります。

厳しい意見が多いのですが最後の激励の一言で元気が出てきます。今後も定例会毎に発行していきたいと思っております。

会派結成に伴い我々がなすべきことは、仙北市



す。そのためには会派の議論にとどまらず多くの方々と意見交換、勉強会などを積極的に進めていくことが必要と確認しています。



編集後記

今定例会の一般質問の2日間、両日ともに傍聴席は満員となった。8人の質問者中4人が田沢湖病院問題を取り上げたからと思われる。

前号にも記したが一般質問の回数は会派ごとに年間の回数割り振られ、その順番も会派内で一応決まっているようだ。

今回は質問順番には当たっていないが、順番を繰り上げて貰って質問した方もいたようだ。住民の方々の関心のある事柄を適期に質問すれば傍聴者は多くなる。

財政改革特別委員会 山形県東根市を研修

効率的財政運営で生じた財源を子育てに！ 東根市の行革を研修

人口46,000人の「すくらんぼの里」東根市は、農業と工業団地のまちづくりを進めている。

行政改革は第4次計画を推進中で、民間委託に

よる職員削減とパート職員の委託会社の社員化に取組んでいる。この取り組みは仙北市と同様であるが、決定的な違いは、効率的な財政運営により生じる財源を「子育て予算」に、という考えである。

さらに工業団地を造成して企業を誘致し「働く場を確保」する。良好な

「住宅政策」を推進する。乳幼児医療無料化等子育てに政策目標をおいているところが違う。ひがしね保育所の民間委託は、平成20年度4月から民営化を実施している。名称はそのまま「東根市立ひがしね保育所」で保育業務の運営を民間委託している。この法人の代表者は元保母さんである。この方法は民間譲渡よりも許認可を得やす

